

2011年度IBP-A 参加者体験談

ポートランド州立大学（アメリカ・オレゴン州）

2011年8月11日～9月7日実施

●研修に参加する前に比べると英語のスキルも上がったと思う。多くの友人とも知り合うことができたし、とても貴重な体験をすることができた。また、英語だけではなく、自分の大学での専門分野である“ビジネスマネジメント”を学ぶ意欲も高まった。（1年：岩橋里奈）

●同じ位の年齢の学生が二カ国語、三カ国語を当たり前のように話し、留学などで他国への理解を深めているという事実に衝撃を受けた。英語を学ぶことを目的とするのではなく、学んだ英語をどう活用するかが重要であり、その点から、今後は英語を趣味として考え、人生と豊かにする手段として英語に親しんでいきたい。文化圏が違う人たちと接することがこんなにエキサイティングで楽しいものだとは思っていなかったの、これからは海外に目を向けていきたいと思う。（2年：藤村新之介）

●日本の授業に比べて、自分の意見を求められるので授業に積極的に参加することができた。授業では、スピーチやグループでの活動、発表などがあったので、ほかの学校の学生ともすぐに打ち解けることができ、その点でもとても有意義だった。

ホームステイ先は、少し帰宅時間が遅れると心配してくれたり、毎日学校でしたことに関心をもって聞いてくれるので話すことが尽きなかった。帰国時も「またアメリカに来る機会があったら連絡してね。」と言ってくれたのでとても嬉しかった。（2年：田中健）

●日本とは異なる地で1か月過ごすことができ、よい経験になりました。旅行では体験できない大学での授業、企業訪問、ホームステイを体験でき、とてもよかったと思います。ホームステイでは現地の方と多く触れ合うことができ、文化の違いを学ぶよい場となりました。（2年：長瀬桃子）

●最初は英語も話せないし、リスニング力もあまりなく不安と緊張しかありませんでした。しかし、現地で過ごしている間に少しずつですが向上していったように感じました。困ったことがあればすぐに相談できるアシスタントの方もいるので、わからないことはすぐ聞いたりしていました。このプログラムは自分の気の持ち方次第で自分が成長できるし、英語が苦手だけど興味ある、という方にもとても刺激を与えてくれます。笑顔で毎日を過ごせたことが1番良かったです。（3年）

